



02 洗浄

箱詰め前に、メロンに付着した農薬や土の汚れを専用の機械で洗浄します

START!

01 収穫

5月末～6月中旬が収穫の最盛期。一つ一つ丁寧に収穫していきます



Let's know about melons

出荷までの流れを
見てみよう！

03 箱詰め

洗浄が終わったら、大きさとに1箱に3玉～6玉ずつ詰めていきます

メロンに傷が付いていないか確認しながら丁寧に箱詰めします



04 出荷

1月頃に種をまいてから収穫まで、約半年間かけてようやく出荷に至ります

丹精込めて育てたメロン。我が子のように大切に送り出されます



切った瞬間に甘い香りが広がります

30年続くメロン農家の跡を継いで

愛情込めて育てた
甘いメロンを召し上がれ

メロン農家 齊藤秀平さん・千秋さん
(南間中橋 29歳・31歳)



ですが、珍しい品種だからこそ、多くの人に食べて欲しいという思いで栽培しています。

現在では、国や自治体の支援制度が充実し、安定した農業経営が可能となり、若い就農者が増えていきます。就農することに興味がある人は、失敗を恐れず挑戦して欲しいと話す齊藤さん。メロン農家を継いでまだ1年ですが、新しい品種の栽培にも積極的に取り組む、おいしいメロンを全国に届けたいとも語ってくれました。

齊藤さんのお宅では、みずみずしくしっかりと肉質の「タカミレッド」と、甘くてジューシーな果肉が特徴の「ポニー」の2種類を中心に栽培。「ポニー」は繊細で割れやすく、栽培の難しさと手間がかかることから生産する農家も少ないそうです。

以前に比べメロン農家は少なくなっただけで、その苦勞の多さから、離せません。その苦勞の多さから、以前に比べメロン農家は少なくなっただけで、その苦勞の先には収穫という代えがたい喜びがあります。

生

産量日本一を誇るメロン産地
の茨城県。齊藤さんご家族は
市内で30年以上メロンを栽培して
きたベテラン農家です。秀平さん夫婦
は、結婚を機に去年4月に就農して
メロンの栽培に携わるようになり、
その大変さを痛感したと言います。
害虫・病気の対策やビニールハウスの
換気など、片時もメロンから目が
離せません。その苦勞の多さから、
以前に比べメロン農家は少なくなっ
ただけで、その苦勞の先には収穫の
先には収穫という代えがたい喜びが
あります。



作っている品種：タカミレッド、ポニー
旬の時期

